

2015年の日本経済の見通し

— 綻び広がるアベノミクス —

BNPパリバ証券チーフエコノミスト

河野の
河野 龍太郎

- * 原油価格急落の背景
- * 原油安は当分続く
- * 原油安効果は意外に少ない
- * 連鎖するバブル現象
- * 追加金融緩和はあるのか
- * 為替が円高に向かう可能性も
- * 完全雇用状態とアベノミクス
- * 日本銀行の罪は重い
- * 輸出が増えない本当の理由
- * 必要な非製造業の規制緩和



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、皆さんおなじみの河野龍太郎さんにお越しいただきました。もう何度も来ていただいておりますが、この経済倶楽部では1年半ぶりぐらいになるかと思えます。かねてからアベノミクスには割に批判的な論者の1人でありまして、1年半たつて、先ほど伺いましたら、大体予想どおりの状況になってきているというお話でございました。これからどうなるのか、皆さんもたいへんご興味のあるところだと思いますので、今日はそういった非常に冷静な分析を明確にさせていただきたいと思います。

（拍手）
 それでは河野先生、よろしく願いいたします。

河野 今ご紹介頂きました河野でございます。

今日はよろしく願いいたします。

先ほどご紹介頂きましたが、私としては大体予想したとおりの感じになっているかなと思っています。念のため言っておきますと、私は、株はすぐ上がりますよという話は2012年の末からというか、アベノミクスがスタートする前の選挙中からしてきています。当時私がお話ししたポイントは、後ほどお話ししますが、要は、日本の潜在成長率はゼロ近辺の0・3%なんです。成長戦略だといって頑張っても、その効果はすぐく限られているので、ここからなかなか上がらないと。

一方で大規模な財政と金融政策、当時からは、そんなことをやったら事実上のマネタイゼーションだと言っていて、それをやると帰結は